

令和2年度 第4回 日野市男女平等推進委員会 要点録

日 時	令和3年1月22（金） 午後6時30分～7時30分
場 所	多摩平の森ふれあい館 集会室3-1, 3-2
出席者	<p>鵜沢会長、岩田委員</p> <p>オンライン参加者、須賀副会長、大塚委員、古賀委員、紫村委員、田中委員、内藤委員、藤山委員</p> <p>岡田企画部長、三好男女平等課長、田口副主幹、石川主任、コクドリサーチ小松</p>
欠席者	白子委員
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>（1）パブリックコメントの実施結果について</p> <p>（2）第4次日野市男女平等行動計画素案（修正案）について</p> <p>（3）その他</p> <p>① 計画の添付資料について</p> <p>② 次年度の予定について</p> <p>3. その他</p>
開会	三好課長より出席者報告
議題1	<p>（1）パブリックコメントの実施結果について</p> <p>事務局より説明</p> <p>事務局：</p> <p>パブリックコメント結果について、資料1をご覧ください。期間は令和2年12月14日から令和3年1月12日まで実施いたしました。全部で13件のご意見をいただいております。内訳は資料のとおりとさせていただきます。後程、詳細な内容を説明いたします。以上です。</p>
議題2	<p>（2）第4次日野市男女平等行動計画素案について</p> <p>会長：</p> <p>続きまして、議題（2）第4次日野市男女平等行動計画素案（修正案）になります。事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>事務局：</p> <p>始めに表記の修正についてご連絡します。p30「第2節 計画の体系」について、体系図のタイトル「施策の項目」を「施策の方向性」に修正、「施策の方向性」を「施策」に修正いたします。</p> <p>それでは、いただいたご意見について、資料に基づいて説明いたします。No1の「ジェンダー主流化」についてです。最後のNo13でもご指摘いただいておりますが、現計画案のp3「第1章計画策定の趣旨」に「第2節 策定の背景」を設け、「1国際的な状況」の中で、いわゆる「ジェンダー主流化」について触れていきます。ま</p>

た脚注として「ジェンダー主流化」を説明します。さらに第2節では「2国の動き」、「3東京都の動き」を追記します。「3東京都の動き」では、今ご提示している案に、平成30年9月「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」、令和元年「東京都性自認及び性的指向に関する基本計画」の2点を追記したいと考えています。

会長：わかりやすく示して、周知を図るということですが、いかがでしょうか。

⇒異議なし

事務局：No2、No3はデータの抽出について、No2は、「女性の就労状況」についてです。現行の第3次計画には男女別貧困率のデータを記載しており、今回第4次を策定するにあたって、なるべく見やすく、集約したものを作ろうというコンセプトであったため、割愛させていただいた部分でありました。現在、コロナの影響もあり、女性の貧困率がさらに深刻な状況になっていることも踏まえまして、第3次計画と同様に、男女別貧困率データを掲載します。具体的には、p8に「3生活困難な状況」という項目を設けて、その中に記載を行うことで考えております。

No3については、p13からp16のグラフを男女別、年齢別に集計したものに差し替えます。「性別に基づく役割分担意識について」の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」のデータは男女別データ・年齢別を入れたものに差し替え、「次の分野で男女の地位は平等になっていると思うか」についても、男女別データへの差し替えで対応します。以降、p16まで、男女別のデータに差し替えを考えています。またNo3の「データの抽出方法」については、世代別に均等に割り振って抽出してしまうと、60歳以上の方の回収率が高く、年齢に偏りが出やすくなるため、ご意見いただいた内容は次回調査時の「参考意見」とさせて頂き、工夫していきたいと考えています。

会長：性別や年齢別のデータが必要という意見です。調査方法のデータの片寄りについては次回対応ということですが、皆様いかがでしょうか。

委員：No3についてですが、「冒頭に回答者の属性について少なくとも性別、年齢別のデータは必要に感じます」とありますが、p13から市民の結果が出ており、その冒頭に全体として、回答者は性別、年齢別にどのくらいの割合なのかを記載してほしい、という意見なのではないでしょうか。社会調査でよくあるような、調査の概略のようなものを掲載するイメージかと思えます。

事務局：アンケート結果にあるような、回収率の内訳や回答者属性を載せるということでしょうか。

会長：年齢が若い人たちの回答率が悪かったということを書いていただけると、回

答者数が少ないことの理由付けにもなると思います。調査対象と回収率などの概略を冒頭に載せる対応が良いと思います。

事務局：No 4 の具体的数値目標についてです。p 32、p 33 赤字が今回修正した箇所になります。数値的に示すことが難しい項目が多いため、「増加」「減少」という表現をしておりました。具体的な数値を、というご指摘がありましたので、概ね1年で1%強の増減と想定して記載しております。皆様のご意見を頂きたいと思います。引き続き、「増加」「減少」と記載している部分については、数字に表すことが困難なため、このままとさせていただきたいと思います。特にがん検診については、所管課の計画でも具体的数値を示しておらず、数値設定はできないと回答をいただいています。

会長：「増加」「減少」での表記では評価しにくいといった意見に対する対応ですが、皆さまいかがでしょうか。

委員：一般の方は具体的数値を必要としているのでしょうか。「増加」「減少」といった表現で良いと思います。細かい数値を記載することで満足する方がどれくらいいらっしゃるのかな、と思います。

委員：「増加」「減少」でも良いと思うのですが、「子宮頸がん検診、乳がん検診受診率の向上」については、市の健康課に目標数値があると思うので、それに合わせて設定するというのも可能ではないでしょうか。

事務局：健康課に確認したところ、目標数値の設定をしていないとのことでした。

委員：検診なので「増加」ではなく目標を設定したほうが良いのではないのでしょうか。

事務局：男女平等課として数値を作ることは難しいため、これはこのまま、所管課の計画表記のとおりとさせていただきたいと思います。

会長：たとえば「増加」の表記にしておいて、東京都の平均数値を参考値として記載し、判断基準にすることはいかがでしょうか。数値を出してしまうと目標に縛られるところもあるため、「増加」「減少」の表記の項目は注釈として1年で~%増加などと目安を設ける形でも良いのではないのでしょうか。ものによっては1年に1%も変化しないものもあると思います。

委員：いくつかの項目で現況よりも目標が下がっているものがありますが、なぜでしょうか。

事務局：「職場において男性が優遇されている」率など、下げたいものとなります。本当は目標「ゼロ」にしたいところです。

会長：数値を入れることで減少なのかどうなのかがわかりにくくなる場合もあるため、それぞれの項目で1%の「増」「減」を目標とするのもひとつの方法かなと思います。わかるものがあれば、国や都の全体平均値を参考数値として記載することはいかがでしょう。市職員の育休取得率も全国と比較して極めて高い水準にあると思います。目標の6割もすごいことだと思います。

委員：定性的な目標値なのに定量化していることに違和感があります。数値で入れるのは望ましくないと思います。あえて入れるのであれば、増加率や減少率で記載し、昨年と比較してこのくらいの増減が目標ですという記載にするなど、数値そのものに意味があるのではなく、形勢的に変わっていくことが目的であることを記載しておけば良いと思います。

事務局：減少率を記載すると、毎年度調査するものではなく、5年後の評価になるので、設定が難しい。目標の数値が設定できるものは記載しますが、それ以外は、今までと同じように、「増加」「減少」の表記でよろしいでしょうか。

委員：数値が設定できるものは入れて良いと思いますが、ご意見の趣旨から判断すると、計画が終わったときの評価の基準をしっかりと設けて下さい、ということに重点がおかれていると思うので、そこを対応できれば良いと思います。なので表記はあまり変更しなくても良いかと思います。右の該当箇所のページ数は更新前でしょうか。

事務局：更新前のページ数になります。修正します。

会長：そうすると、増減率もあえて記載しないほうが良いでしょうか。数値は入るところはどこになるでしょうか。

事務局：これまでどおりとなりますので、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」の割合は増加、「社会通念・週刊・しきたりにおいて男性の方が優遇されている」の割合は減少、「家庭生活において男性の方が優遇されている」の割合は減少、「職場において男性の方が優遇されている」の割合は減少、「仕事が忙しいからを理由として職業以外の社会活動、地域活動に参加していない人」の割合は減少、以外の項目となります。

会長：それ以外のところは数値が入るということであれば、その数値は何を根拠としたのかの説明をしたほうが良いと思います。

委員：例えば「審議会・委員会における女性委員の割合」の目標 40%は何が根拠

になっているのでしょうか。

事務局：国の第5次男女共同参画基本計画で定められている割合となっており、女性の割合を40%以上、60%以下にすることが目標となっています。

会長：数字が入るところについては、全て注釈を入れたほうが良いのではないのでしょうか。育休取得率の目標60%以上については、根拠資料になるものがあるのでしょうか。

事務局：日野市で定めている行動計画の数値に合わせて設定しています。

会長：その出典となる資料名を記載していただければ良いと思います。

委員：ワーク・ライフ・バランスの55%についても、資料があるのでしょうか。

事務局：半分以上を目指すイメージで、本当は「増加」という表記をしたいところではあります。他のところもその表記でよければ、「増加」「減少」とさせていただきたいと思います。

会長：根拠があるところだけ数値を入れていただいて、その出典を明確にいただければ、他は増減の表記で良いと思います。

事務局：そうでしたら、ご意見については参考とさせていただき、根拠があるところは数値目標を設定し、注釈を記載する対応とします。

会長：それでよろしいかと思います。1年間で1%の増減を目指すといった記載について申し上げましたが、必要が無いのかなと思っています。いかがでしょうか。

事務局：全部に共通して1%の増減として良いかということもあり、難しいように思います。

会長：数値に縛られないためには、基本的に「増加」「減少」の表記としておき、他課で目標設定をしている項目については、出典を表記して目標の数値を記載するという事で、いかがでしょうか。

⇒異議なし

事務局：No5「性的マイノリティについて」です。p38 になりますが、ご指摘のとおり、性的マイノリティには「LGBTQ」や「SOGI」など、様々な表現がありますので、藤山委員に解説を寄稿いただき掲載したいと思っています。

委員：言葉が難しいと感じます。「LGBTQ」が浸透していますと書かれていますが、どのくらいの方が理解しているのでしょうか。「LGBTQ」の説明が欲しいと思います。前回もご指摘ありましたが、カタカナ書きや略称が多く、丁寧な説明書きがあれば皆さんがもっと読み取れるのではと思います。

会長：説明を加えるということをお願いします。

事務局：No6「性教育について」です。p39の該当事業について、現行の第3次計画に引き続き同じ文言を使用しています。

方向性と事業No12のところ、「学校においては、学習指導要綱に基づき～」としており、ご指摘の内容は理解しています。教育現場では「学習指導要綱」をあくまでも基本とする考えは変わらず、現行の第3次計画でもこの表現としています。ただし、現状でデートDV出張講座を行っており、その中でSNSに関する注意喚起なども行っています。計画上の表記はこのまま変更しないことで考えており、ご意見については参考意見とさせていただく考えです。

委員：このままで良いと思います。

事務局：No7について、p43の事業No19一人ひとりの状況に応じた女性相談の実施、ということで、先日も相談員の方からお話があったように、日野市では他市に比べて相談の枠が少ないのではないかと、というご指摘もあり、課題となっています。コロナで相談件数も増えていることもあり、来年度相談枠の増設を予定しております。ご意見については「参考意見」とさせていただきます。

委員：今の段階ではまだ、枠を増やすという記載はできないのでしょうか。

事務局：増やしたいという段階で、まだ難しいところです。無理のない範囲で、意向を載せたいと思います。

事務局：No8「性犯罪・性暴力の防止について」、4つの目標が掲載されているp29の「あらゆる暴力の根絶をめざす」の部分に【新規】の記載を追加します。p45「施策2 被害者への支援」の【現状と課題】について、2番目の項目に「特に子ども、障害のある女性（児）の性被害を受けた場合、被害が潜在化しやすいため、子どもの発達段階や被害者の多様性などに配慮したきめ細やかな対応が必要であります。」の文章を追記します。さらに、事業No.28、No.29の担当課に「子ども家庭支援センター」を追加します。また「性暴力」とは何かについて脚注に追加します。

⇒異議なし

事務局：No9「ひとり親家庭への支援」について、ご指摘いただいたとおり、ひとり親家庭への相談については、これから離婚を考えている方や実質未婚の方についても受けておりますので、p51「施策4 ひとり親への支援」【施策の方向性】に「生活上の困窮に直面しやすい～、これから離婚を考えている方、また実質ひとり親の方を含め、～」をここに追記します。

⇒異議なし

事務局：No10「高齢者就労支援」について、p52 事業 No51「シルバー人材センターの活動を支援」という表記について、当団体に補助金を支出していることからそのように限定的に記載しておりましたが、雇用の受け皿拡大の取組としてハローワークとの連携により雇用の創出に取り組んでまいりますので、事業 No51「シルバー人材センター等」を追加し、担当課に「産業振興課」を追加します。

⇒異議なし

事務局：No11 について、p57「男性高齢者の社会参加の促進」について、ご指摘のとおりですが、「高齢者」の施策については高齢福祉課で行っておりますので、男女平等の視点から現行計画に引き続き、あえて「男性高齢者」と表記をしています。この部分については「参考意見」とさせていただき、このままの表記で考えています。ただし、施策3「男性高齢者の社会参加の促進」の【現状と課題】2番目の項目の最後に「これらの状況から年齢層やライフスタイルに合った活動が展開できる支援が必要です」を追記することで対応を考えています。

会長：個人的には定年後の男性に、地域における社会参加を促すことは重要であると思うので今の記載で良いと思いましたが、いかがでしょうか。なおかつ、働きながら参加したらよいのではないかという文言が加わったのでバランスがとれていると思います。

事務局：No12「市内の男女平等参画の充実について」、p36の事業No5ですが、「日野市男女平等に関する表現指針」を平成28年度に改訂しており、これを活用して職員に周知していきたいと考えています。p62「特定事業主行動計画」については脚注を入れ、さらに同計画「日野市特定事業主行動計画(新・未来いきいきプラン)」の数値目標及び目標達成に向けた取組一覧をp63に追記します。それによって、わかりやすくなるとともに、「いきいきプラン」と連動して取り組んでいくということが示せるのではないかと考えています。

委員：これがあると解りやすいです。

事務局：No13「男女平等に関するトピックス」について、夫婦別姓に関する動きに

ついて、冒頭の No1 のところでも触れましたが、計画の背景として、現行の第3次計画と同様に、第1章、第2節に「世界、国、都の動き」を追記し、資料編にも「世界、国、都、市の動き」を年表として追加します。「国の動き」の中で、p5の最後に「家族に関する法制の整備等」を記載いたします。

会長：まとまっていますととても解りやすいです。

事務局：他にお気づきの点がありましたら、1月29日（金）までに事務局にご連絡ください。その後、最終的にまとめたものを、概要版も含めて完成次第、データと印刷したものを送付いたします。計画書については、今回はモノクロ印刷になります。

（3）その他

事務局：①計画の添付資料について

現行計画と同じ内容で掲載を予定しています。推進委員の一覧について、お名前を掲載してよろしいでしょうか。

⇒異議なし

事務局：②次年度の予定について：「産業まつりへの出展」について

平成29年度第8期推進委員より「効果的な情報発信」の効率的な手法として「産業まつり」に出展をしました。昨年も当初産業まつりに出店予定でしたが、コロナ感染症の関係で中止になっております。次年度の出展有無について、皆様のご意見をこの場でお聴きできたらと思います。

委員：具体的にどんな事をやるのでしょうか。

事務局：「パネル展」や「リーフレットの設置」といったことを行いました。2帖くらいのスペースに「キッズコーナー」を設けて、子育て世代に伝えられるようにパネル形式のクイズを行い、参加した方にガチャガチャをしていただき、男女平等推進センターについて知ってもらうといった発信をしています。「キッズコーナー」にはすべり台や絵本、ブロック等を置き、両親が休憩する場所も設けてあり、とても好評でした。推進委員の皆様が主体となりますので、ご意見を伺いたいと思います。

委員：一回参加させて頂きましたがとても楽しかったです。イベントを楽しむという姿勢や取り組みはとても良いと思いました。

会長：出展することによろしいでしょうか。

⇒異議なし

	<p>会長：以上で議題について終了します。</p>
その他	<p>事務局：次回日程について、3月26日（金）に市長報告となります。会場は多摩平の森ふれあい館で、オンライン会議の予定です。</p> <p>閉会 第4回 第9期男女平等推進委員会を閉会します。</p>